

公益財団法人 在宅医療助成 勇美記念財団

2015 年度在宅医療助成（前期）指定公募④

「地区医師会の地域包括ケアシステム構築のための在宅医療推進事業」

完了報告書

【テーマ】

「地域包括ケアシステムにおける医師と介護の在宅患者情報提供

（地域完結型システム）」

【申請者】 一般社団法人 浪速区医師会 在宅担当理事 入野宏昭

【所属機関】 一般社団法人 浪速区医師会

【提出年月日】 平成 28 年 8 月 1 日

【完了報告書】

● 本事業の目的

本事業は、在宅医療を必要とする患者が増えてくる中、可能な限り住み慣れた地域で安心して暮らすことができるような在宅医療の体制づくりに取り組むために、地域の病院、介護事業者の連携の実態についてのアンケート調査を実施し、現在の状況を把握するとともに、今後の連携強化、情報共有基盤構築の必要性について検討することを目的とする。

● 事業内容

在宅医療に関する体制、取り組みなどについて、病院と介護事業所へのアンケートを実施した。

アンケートの実施に向けては、回答率を上げるための施策検討、アンケート内容（質問項目）の検討、対象となる病院・介護事業所のリストアップ、回答結果の集計方法などについて、協力機関の支援を受けながら議論を重ねた。

(1) アンケート回答率向上に向けた施策

アンケートの回答方法として、FAX、電子メール、WEBの3種を準備し、いずれの手段でも回答できるようにした

(2) アンケート内容（質問項目）

- ▶ 病院向け：別紙1参照
- ▶ 介護事業者：別紙2参照

(3) アンケート対象

- ▶ 病院：大阪府下の病院（185件）
- ▶ 介護事業者：浪速区内に事業所を持つ介護事業者（68件）

(4) アンケートの実施

平成28年2月1日（月）～平成28年2月29日（月）

● 結果報告まとめ

(1) 有効回答

- ▶ 病院：68件（有効回答率：36.8%）
- ▶ 介護事業者：30件（有効回答率：44.1%）

(2) 集計結果

- ▶ 病院：別紙3参照
- ▶ 介護事業者：別紙4参照

(3) アンケート総評

➤ 病院

回答があった多くの病院は、在宅移行の患者について、かかりつけ医との連携を取るための環境が整備されており、スムーズに行えていることがわかる。その反面、介護事業所や地域の在宅医療コーディネーターとの連携が取れていないという所が多かった。

➤ 介護事業者

回答があった多くの介護事業所において、病院、かかりつけ医を始めとする多職種との連携がスムーズに行うための環境が整っておらず、連携ができていない結果となっている。また在宅医療コーディネーターについても知らないところが多かった。

● 総括

本会が地域における多職種連携の核となり、各職種間の連携をスムーズに、かつ迅速に行えるような体制を整える必要があると感じた。それと同時に、在宅医療、地域医療に関する情報提供、各職種のニーズ等を把握することが、今後の在宅医療を取り巻く環境の充実に繋がると確信した。

本会の在宅医療に関する事業の取り組みの一貫として、多職種連携の環境が充実するよう努力したい。

在宅医療に関するアンケートのお願い【病院】

I 在宅患者動向

1. 退院時に、在宅医療となった患者を紹介元のかかりつけ医に戻されますか？
 はい いいえ
 ↳ 約（ ）%は戻します
2. 退院時に、かかりつけ医の決まっていなないケースはありますか？
 ある ない
 ↳ 約（ ）%は決まっている
3. 現在は入院中であるが、在宅医療環境が整えば、在宅医療に移行しても良いと考えるケースはありますか？
 ある ない
4. 在宅患者の退院時カンファレンスは、開いていますか？
 はい→「6」へ いいえ→「5」へ
5. 患者退院時カンファレンスを開かない場合、患者の退院後の介護利用内容をどの程度把握されていますか？
 100% 99～75% 50～74% 26～49% 25%以下
6. 現在、大阪府医師会（大阪府）では在宅医療コーディネーターという職を設け、医療側から在宅医療を推進する働きかけを行っていますがご存知ですか？
 知っている 知らない
7. 地域の在宅医療コーディネーターとミーティングを行うなど連携をとっていますか？
 いる いない
8. 貴事業所では、医療介護の連携について、どの程度できていると思いますか？
 よくできている まあまあ 普通 できていない

II 地域医療構想（ビジョン）2025年に向けて

1. 高度急性期、急性期、回復期、慢性期のうち貴病院で最も力を入れていく病床機能はどれですか？（複数回答可）
 高度急性期 急性期 回復期 慢性期
2. 地域包括ケア病棟を設置されている病院さんにお伺いします。
(1) 地域包括ケア病床は、全体の病床の何パーセントを占めていますか？
 50%以上 20～49% 19%以下 設置なし
(2) 今後、在宅患者の受け入れを目的として設置される可能性はありますか？
 ある ない

在宅医療に関するアンケートのお願い【介護事業者】

1. 病院からかかりつけ医のいない在宅患者が退院するとき、かかりつけ医を決める相談を受けることはありますか？
 ある ない
2. 貴事業所で24時間対応に関してサービスが不十分だと思うことはありますか？
 ある ない
3. 在宅医療連携において、主治医との連携がスムーズに行かないことはありますか？
 ある ない
4. 主治医との連絡方法はどのようにしてとられていますか？（複数回答可）
 電話 FAX メール 医師会に連絡
 訪問看護師を経由する
 その他（ ）
5. 何件程度の在宅患者の受け入れが可能ですか？（アンケート回答時の状況でお答えください）
 20件以上 6件～19件 5件以下 なし
6. 医師、看護師、歯科医、薬剤師等の多職種のうち、連携がまだ不十分だと思われる職種はありますか？（複数回答可）
 医師 看護師 歯科医師 薬剤師 管理栄養士
 運動療法士 MSW その他（ ）
7. 現在、大阪府医師会（大阪府）では在宅医療コーディネーターという職を設け、医療側から在宅医療を推進する働きかけを行っていますがご存知ですか？
 知っている しらない
8. 地域の在宅医療コーディネーターとミーティング等行うなど連携をとっていますか？
 いる いない
9. 貴事業所では、医療介護の連携について、どの程度できていると思いますか？
 よくできている まあまあ 普通 ほとんどできていない
10. 平成30年以降の地域包括ケアシステムに関して、貴事業所で特に取り組んでいこうと思っている事があれば教えてください。

[]

FAX 送信先 浪速区医師会 06-6633-6790 ご協力ありがとうございました。

在宅医療に関するアンケートのお願い【病院】

アンケート期間：2016年2月1日～2月29日

回答総数：68件

I 在宅患者動向

1. 退院時に、在宅医療となった患者を紹介元のかかりつけ医に戻されますか？

回答	回答数(68)	回答率
はい	68	100.0%
いいえ	0	0.0%

「はい」と回答された方で戻す比率（有効回答数 56）

回答	回答数(56)	回答率	
100%	18	32.1%	89%の病院が、80%以上の患者を紹介元のかかりつけ医に戻していると回答している
99%	1	1.7%	
90%	15	26.8%	
85%	1	1.7%	
82%	1	1.7%	
80%	14	25.0%	
60%	1	1.7%	
50%	2	3.6%	
40%	1	1.7%	
10%	1	1.7%	
5%	1	1.7%	
無回答	12	-	

2. 退院時に、かかりつけ医の決まっていないケースはありますか？

回答	回答数(68)	回答率
ある	42	61.8%
ない	26	38.2%

「ある」と回答された方でかかりつけ医の決まっているケース（有効回答数 28）

回答	回答数(28)	回答率
95%	3	10.7%
90%	8	28.6%
80%	5	17.9%
60%	1	3.6%
50%	4	14.3%
30%	3	10.7%
20%	3	10.7%
15%	1	3.6%
無回答	40	-

3. 現在は入院中であるが、在宅医療環境が整えば、在宅医療に移行しても良いと考えるケースはありますか？

回答	回答数(68)	回答率
ある	67	98.5%
ない	1	1.5%

4. 在宅患者の退院時カンファレンスは、開いていますか？

回答	回答数(68)	回答率
はい	63	92.6%
いいえ	5	7.4%

5. 患者退院時カンファレンスを開かない場合、患者の退院後の介護利用内容をどの程度把握されていますか？（問4でいいえを回答した5名）

回答	回答数(5)	回答率
100%	1	20.0%
99～75%	2	40.0%
50～74%	2	40.0%

6. 現在、大阪府医師会（大阪府）では在宅医療コーディネーターという職を設け、医療側から在宅医療を推進する働きかけを行っていますかご存知ですか？

回答	回答数(68)	回答率
知っている	49	72.0%
知らない	19	28.0%

7. 地域の在宅医療コーディネーターとミーティングを行うなど連携をとっていますか？

回答	回答数(68)	回答率
いる	25	36.8%
いない	43	63.2%

8. 貴事業所では、医療介護の連携について、どの程度できていると思いますか？

回答	回答数(68)	回答率
よくできている	14	20.6%
まあまあ	40	58.8%
普通	13	19.1%
できていない	1	1.5%

Ⅱ 地域医療構想（ビジョン）2025年に向けて

1. 高度急性期、急性期、回復期、慢性期のうち貴病院で最も力を入れていく病床機能はどれですか？（複数回答可）

回答	回答数(68)	回答率
高度急性期	12	17.6%
急性期	49	72.1%
回復期	20	29.4%
慢性期	13	19.1%

2. 地域包括ケア病棟を設置されている病院さんにお伺いします。

- (1) 地域包括ケア病床は、全体の病床の何パーセントを占めていますか？

回答	回答数(68)	回答率
50%以上	13	19.1%
20~49%	4	5.9%
19%以下	12	17.6%
設置なし	39	57.4%

- (2) 今後、在宅患者の受け入れを目的として設置される可能性はありますか？

回答	回答数(68)	回答率
ある	34	50.0%
ない	34	50.0%

在宅医療に関するアンケートのお願い【介護事業者】

アンケート期間：2016年2月1日～2月29日

回答総数：30件

1. 病院からかかりつけ医のいない在宅患者が退院するとき、かかりつけ医を決める相談を受けることはありますか？

回答	回答数(30)	回答率
ある	17	56.7%
ない	13	43.3%

2. 貴事業所で24時間対応に関してサービスが不十分だと思うことはありますか？

回答	回答数(30)	回答率
ある	14	46.7%
ない	16	53.3%

3. 在宅医療連携において、主治医との連携がスムーズに行かないことはありますか？

回答	回答数(30)	回答率
ある	18	60.0%
ない	12	40.0%

4. 主治医との連絡方法はどのようにしてとられていますか？（複数回答可）

回答	回答数(30)	回答率
電話	28	93.3%
FAX	12	40.0%
メール	2	6.7%
医師会に連絡	0	0.0%
訪問看護師を経由する	18	60.0%
その他	8	26.7%

その他に回答した方の連絡方法

No.	内 容	件数
1	訪問	2
2	医師・ケアマネージャー連絡票利用	1
3	毎日のように在宅医が来ているため、直接話をする	2
4	直接携帯へ連絡	1
5	ケアマネージャーで経由/通院介助時に直接	1
6	サイボウズを利用	1

5. 何件程度の在宅患者の受け入れが可能ですか？（アンケート回答時の状況でお答えください）

回答	回答数(30)	回答率
20件以上	2	6.7%
6件～19件	10	33.3%
5件以下	12	40.0%
なし	6	20.0%

6. 医師、看護師、歯科医、薬剤師等の多職種のうち、連携がまだ不十分だと思われる職種はありますか？（複数回答可）

回答	回答数(30)	回答率
医師	13	43.3%
看護師	10	33.3%
歯科医師	11	36.7%
薬剤師	5	16.7%
管理栄養士	15	50.0%
運動療法士	7	23.3%
MSW	5	16.7%
その他	2	6.7%

その他に回答した方の連携が不十分だと思われる職種

No.	内 容	件数
1	入退院調整室	1
2	できる人とできない人がいる	1

7. 現在、大阪府医師会（大阪府）では在宅医療コーディネーターという職を設け、医療側から在宅医療を推進する働きかけを行っていますか？

回答	回答数(30)	回答率
知っている	10	33.3%
知らない	20	66.7%

8. 地域の在宅医療コーディネーターとミーティング等行うなど連携をとっていますか？

回答	回答数(30)	回答率
いる	1	3.3%
いない	29	96.7%

9. 貴事業所では、医療介護の連携について、どの程度できていると思いますか？

回答	回答数(30)	回答率
よくできている	9	30.0%
まあまあ	6	20.0%
普通	13	43.3%
ほとんどできていない	2	6.7%

10. 平成30年以降の地域包括ケアシステムに関して、貴事業所で特に取り組んでいこうと思っている事があれば教えてください。

No.	内 容
1	施設色が強いので、ほとんどありません
2	まだ実感としてありません
3	もう少し様子を見てから判断したいので静観中です
4	現在状況が見えていない為静観中
5	検討中
6	保険者である方が安心できる住まい・医療・介護・予防・生活支援が一体的に提供されるよう、地域の特性に応じたものにする為、地域包括センター医療との連携を計り、体制を構築する取組みに参加していこうと思います
7	情報を収集し理解を深めてから、取り組みたいことを考えていきたいと思っています
8	住宅での看取り